

利根川下流域の治水事業

佐原広域交流拠点整備事業
土地利用及び施設配置計画図



平常時の利根川(香取市佐原地点) 平成18年7月豪雨時の利根川(香取市佐原地点)

ゲリラ豪雨など 予測困難な災害多発

昨今、地球温暖化の影響によるものか、異常気象による水害が多発している。アメリカのハリケーン「カトリーナ」や日本全国各地で大きな被害を出した平成18年7月豪雨、昨年は平成20年8月末豪雨に代表される「ゲリラ豪雨」など毎年のように被害が多発している。

古くから「暴れ川」と称されているほど氾濫で有名な利根川も、その例に漏れない。昔から県内で水害は数多く起こっており、昭和22

河川防災ステーションの整備

利根川下流域では、河川防災ステーションの整備が進められている。河川防災ステーションは、災害復旧用資材を事前に備蓄し、建設機材の活動や車両交換場所情報収集発信基地、水防団員の待機場所等の施設を整備し、災害時の復旧活動の拠点として利用する防災施設である。

利根川下流域の河川防災ステーションは、印旛郡栄町出津地区の二出津河川防災ステーションが既に整備済みであり、昨年5月に第57回利根川水系連合水防演習がこのすぐ側の利根川河川敷で開催されたことは記憶に新しい。また、現在、香取市本宿耕地地区の「佐原広域交流拠点整備事業」において、利根川下流域では2

事業名・施設名	主な事業主体
①高規格堤防整備事業	〈国土交通省〉
②河川防災ステーション整備事業	〈国土交通省〉
③国道356号拡幅整備事業	〈千葉県〉
④地域交流施設	〈香取市〉
⑤車両倉庫	〈国土交通省〉
⑥河川利用情報発信施設	〈国土交通省〉
⑦水辺交流センター	〈香取市〉
⑧佐原河岸	〈国土交通省〉
⑨利用ゾーン	〈国土交通省〉
⑩緊急船着場	〈国土交通省〉
⑪小野川	〈千葉県〉
⑫舟運事業	〈民間〉

佐原広域交流拠点 オープンまであと一年

利根川と小野川の合流地点である香取市本宿耕地地区で、国土交通省、千葉県、香取市が推進中の「佐原広域交流拠点整備事業」では、その一部に国土交通省と香取市が一体となってPFI方式を採用し、事業を進めている。利根川の防災の観点で、同地区で行われている「スーパー堤防整備事業」と連動して、水郷・佐原の特性を活かして地域の活性化を図る事業の一環だ。

主な事業内容として挙げられるのが、国道などによく見られる「道の駅」の設置。舟運の拠点となる「船着場の設置」も、本宿耕地地区は交通の一大拠点となることが想定される。また、成田国際空港や首都圏からも距離が近く、中心市街地への町歩き観光客などが近年増加しつつあることから、地域交流施設の立地としては最適だ。施設内では、香取市内の農作物などの特産品の販売や、飲食施設、イベント開催用の多目的コーナーのほか、交通・観光情報発信等の地域をPRするコーナーが予定されている。また、レストランが入った水辺交流センターは、緊急時は水防活動の拠点として、水防センターとしての機能も



佐原ドック



佐原の町並み



河川防災ステーションの備蓄資材(根固ブロック)

保存版! 家でできる防災(水害)対策

日頃から気象情報に関心をもみましょう。

国土交通省 川の防災情報
レーダ雨量、テレメータ(雨量・水位・水質・積雪)、気象警報・注意報、洪水予報、水防警報、ダム放流通知などの河川予警報、都道府県河川情報などのコンテンツがあり、インターネットを利用したリアルタイム情報提供をおこなっています。

携帯電話から
<http://i.river.go.jp/>

パソコンから
<http://www.river.go.jp/>



家の周辺の状況、避難場所を把握しておきましょう。

洪水ハザードマップ

お住まいの市町村・地区・町会などで配布しています。また、市町村のホームページからダウンロードできる場合もあります。

洪水ハザードマップ作成済の千葉県内市町村一覧(平成21年2月28日現在)
我孫子市 いすみ市 市川市 市原市 印旛市 印旛村 大多喜町 柏市 勝浦市 香取市 鴨川市 木更津市 君津市 栄町 佐倉市 山武市 匝瑳市 袖ヶ浦市 千葉市 銚子市 長生村 東庄町 流山市 成田市 野田市 船橋市 松戸市 南房総市 本埜村 横芝光町

国土交通省ハザードマップポータルサイト
<http://www1.gsi.go.jp/geowww/disaportal/index.html>
全国の市町村のハザードマップを見ることができます。

非常持ち出し品の準備・点検をしておきましょう。

- チェックリスト
- 水
 - 食糧
 - 毛布
 - 携帯ラジオ
 - 医薬品
 - 衣類等
 - 軍手・手袋
 - 懐中電灯
 - 貴重品

市町村長の出す避難勧告・指示には速やかに従いましょう。

集中豪雨や台風の接近に備え

極力外出を控えましょう。物干し竿など飛ばされそうなものは、室内に入れるか、固定しましょう。ベランダの排水口を再点検し、ゴミが詰まっていたら清掃をしましょう。大雨によって、窓の隙間から雨水が吹き込まないように、敷居に雑巾などを詰めておきましょう。

ごみ袋による簡易水のおう工法

- 30リットル程度の容量のごみ袋を二重にして中に半分程度の水を入れガムテープで閉める。●ごみ袋の強度が不足する場合は、重ねる枚数を増やします。●出入り口などに隙間なく並べて使用します。●二段重ね出来ないで10cm程度の水深が限度です。(買ひ物ポリ袋でも代用できます。)

もしも災害が起こった際の安否の確認

NTT災害用伝言ダイヤル「171」

災害発生時(震度6弱以上の地震など)にはNTTの災害用伝言ダイヤルサービスが稼働します。

伝言の録音方法 171→1→(〇〇〇〇)〇〇-〇〇〇〇→伝言を伝える(30秒以内)
被災地のかたは自宅の電話番号、被災地以外のかたは被災地のかたの電話番号を

伝言の再生方法 171→2→(〇〇〇〇)〇〇-〇〇〇〇→伝言を伝える(30秒以内)
被災地のかたは自宅の電話番号、被災地以外のかたは被災地のかたの電話番号を

携帯電話会社の災害用伝言板サービス

NTTドコモ、au、ソフトバンク等の携帯電話会社では大規模災害時に「災害用伝言板サービス」を行っています。

各社のトップメニューから「災害用伝言板」を開く

- 伝言を登録する場合→「登録」を選択して伝言を入力する
- 伝言を確認する場合→「確認」を選択して被災地のかたの携帯電話番号を入力